

キーパーソン 最前線

吉田町まちづくり公社

三輪 利夫 理事長



みわ・としお 元吉田町収入役。町社会福祉協議会会長を経て現職。任期は2年間。75歳。

中小企業の支援を主事業とする組織のトップ。2019年5月の就任以降、地域経済の活性化に向け、経営相談事業などに注力してきた。成果や今後の課題を聞いた。

—これまでの主な取り組み内容は。

「昨年10月に町企業サポートセンター『よしサポ』を開設した。毎月1回の相談日には、専門性の高い県よろず支援拠点のスタッフが無料で個別相談に応じている。相談者の上限は1日4組で、これまではほぼ全ての枠が埋まった。予想以上に相談希望者が多かったため、今後は上限を1日5組に増やす」

—町内中小企業が抱えている課題は。

「人手不足や販路拡大、商品開発に関する相談が多い。3月中旬には、人材の募集チラシの作り方をテーマにした講演形式のセミナーを開き、約20人の経営者の参加があった。内容が充

中小の経営相談に注力

実していると好評で、次回の経営相談の予約もその場に入った。今後は実際にパソコンを使ってチラシを作ってもらするなど、より実践的なアドバイスをする予定だ」

—今後はどんな組織運営をしていくか。

「16年に設立された公社は組織として若く、町民の認知度は徐々に高まってきているものの、まだ低い。町民との接点を増やしていくことが必要だ。経営相談に加え、今後は草刈りなど地域貢献事業を拡充していくと考えている。スタッフも増員させて広範囲に事業を展開し、困ったときに頼られるような存在を目指す」

(榛原支局・相松孝暢)

経済しずおか